

**令和4年度**  
**国分寺市障害者地域自立支援協議会**  
**専門部会 中間活動報告書**

**相談支援部会**

**就労支援部会**

**精神保健福祉部会**

# 令和4年度 相談支援部会 中間活動報告書

## 今年度部会の主な取組内容

- ◆ 災害対策に関する取組の検討
- ◆ 緊急を緊急にしないための取組に関する検討

## 活動の状況

	日にち	内容	備考
第1回	5月17日(木)	・災害対策に関する取組の検討 ・緊急を緊急にしないための取組に関する検討 ・地域生活支援拠点における「体験の機会・場」についての意見聴取	
第2回	9月13日(火)	・障害児通所支援事業所連絡会の実施報告 ・相談支援事業所連絡会の実施報告 ・地域体制強化共同支援の実施報告 ・情報提供及び情報共有	
相談支援事業所 連絡会	4月21日(木) 5月19日(木) 6月21日(火) 7月21日(木) 8月18日(木) 9月15日(木)	・令和4年度の計画相談の児者転換の取組について ・事例勉強会：今年度の計画相談の児者転換ケース ・新任・ブラッシュアップ研修： 消費生活相談について、支給決定基準について ・ブラッシュアップ研修： 「対人支援職として知っておくと役に立つ！～神経生理学の基礎～」	月1回開催
障害児通所支援 事業所連絡会	7月12日(火)	・障害児通所支援事業に係る意見交換 (夏休みの活動、コロナ禍でのイベントについて、不登校の子どもへの対応と学校との連携について等)	

## 成果・活動から見えてきたことなど

昨年度実施した災害時対策研修「災害時における障害者支援」を受けて、市内で強化すべき取組について意見交換を行った。避難行動要支援者リストのシステム、二次避難所の運用、情報アクセシビリティ、安否確認の方法等、支援者として知っておくべき情報や整理すべき課題が明らかになった。これらについて今後、防災安全課とも情報共有を行い、次年度の具体的な取組の検討につなげていく予定である。

「緊急を緊急にしない」取組については、地域生活支援拠点における「体験の機会・場」の充実に向けて、短期入所及びグループホームにおける体験利用について意見交換を行った。ライフステージによる利用目的の違い、アセスメントの重要性、児童の利用希望増加への対応、自立生活に向けた支援等、「体験の場・機会」としての考え方を整理する必要がある。これらの意見を受けて、国分寺障害者施設担当者意見交換会等でも共有し、具体的な取組に向けた話し合いを継続的に進めていくことを確認した。

障害児通所支援事業所連絡会では、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を取りながらの活動やイベントの開催などの現状や課題について情報共有を行った。また、不登校の子どもへの対応については特に学校との連携が必要であるが、連携の強化については引き続き検討課題となっている。

相談支援事業所連絡会においては、児童から成人への転換についてのケース検討を3回、相談支援専門員のスキルアップを目的としたブラッシュアップ研修に参加するなど、相談支援の質向上とライフステージにおける切れ目のない相談支援体制を目指した取組を継続している。

### 今後の活動予定

	日にち	内容	備考
第3回	2月14日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害対策に関する取組の検討</li> <li>・緊急を緊急にしないための取組に関する検討</li> <li>・地域生活支援拠点における「体験の機会・場」についての意見聴取</li> <li>・障害児通所支援事業所連絡会の実施報告</li> <li>・相談支援事業所連絡会の実施報告</li> <li>・地域体制強化共同支援の実施報告</li> <li>・情報提供及び情報共有</li> </ul>	
相談支援事業所 連絡会	10月20日(木) 11月24日(木) 12月15日(木) 1月20日(金) 2月16日(木) 3月16日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急を緊急にしない支援体制について</li> <li>・障害福祉と高齢福祉との連携について</li> <li>・教育分野との更なる連携について</li> <li>・計画相談における手続きの効率化について</li> <li>・計画相談における加算に関する勉強会</li> <li>・困難ケースの共有及び事例勉強会</li> <li>・相談支援に関する知識、技術のブラッシュアップ</li> <li>・相談支援事業所間の連携、情報共有について</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	月1回開催
障害児通所支援 事業所連絡会	2月7日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所間の連携・情報共有について</li> <li>・教育との更なる連携について</li> </ul>	

# 令和4年度 就労支援部会 中間活動報告書

## 今年度部会の主な取組内容

- ◆ 就労支援に関する地域の課題の掘り起こしと各課題解決のために必要な取組について協議
- ◆ 国分寺障害者施設お仕事ネットワーク価格表の活用について協議
- ◆ 商業施設での販売会の充実について協議
- ◆ 都立武蔵台学園の見学及び関係者による意見交換の実施

## 活動の状況

	日にち	内容	備考
第1回 (実施済)	5月20日(金)	① 各作業部会の取組状況報告 ② 令和3年度就労支援部会活動報告 ③ 令和4年度の取組について ④ 地域生活支援拠点における「体験の機会・場」について(意見聴取)	
第2回 (実施済)	9月27日(火)	① 各作業部会の取組状況報告 ② 今年度の取組について *進捗状況の報告や協議等	
第3回	2月7日(火)	① 各作業部会の取組状況報告 ② 今年度の取組について *検証と次年度に向けた課題抽出 ③ 次年度の取組について協議	
国分寺障害者 施設お仕事 ネットワーク	4月14日(木) 5月19日(木) 6月9日(木) 7月14日(木) 8月18日(木) 9月8日(木)	*共同受注に関する進捗状況報告等 *価格表を活用した新規受注の開拓 *販売会の企画・提案・実施・課題整理 *就労支援部会から出される課題について協議など	商業施設での販売会 ① 7月1・2・3日 ミーツ国分寺
就労支援 事業所連絡会 (名称変更)	8月3日(水)	*関係機関による一般就労支援に関する課題の共有 *実習先の開拓等について協議など	今年度より就労継続支援事業所も任意参加で実施する。

## 成果・活動から見てきたことなど

上半期の部会については、主に各作業部会の取組状況について情報共有することを中心に運営した。農福連携に関しては、就労支援事業所の人員体制や農作業の技術習得等を考慮すると、生産加工や農地栽培での連携が難しいため、除草作業等の役務提供による連携の可能性が高いと考えているが、大きな進展はみられていない。お仕事ネットワークの価格表を用いて、除草、落ち葉掃き、農具の片付けなどの受注ができるように、改めて市内農家の方やJA 東京むさし、障害者就労支援事業所、国分寺市経済課、障害福祉課で協議を開催していきたいと考えている。

お仕事ネットワークにおける共同受注に関しては、市役所や公園の清掃に加えて、民間企業からの内職作業を多く受注している。受注量の増加に伴い、事業所ごとの仕上がりにばらつきがあり、質の低下が見られる。作業の標準化、品質の均一化を図る為に作業マニュアルが必要であり、今年度の定例会で整理していく必要があると考えている。また、更に受注能力を強化する為に必要に応じた近隣他市の事業所やネットワークとの連携については継続課題となっている。

お仕事ネットワークにおける価格表が完成した為、商工会の会議の場で配布や説明する機会を作る等、様々な形でチラシを配布してPRする行動を行っていく予定。市報にて掲載し、除草作業の依頼が数件入っている。シルバー人材センターとも折り合いをつけながら、実際の反響について情報共有しながら、価格表が活用されることにより、障害者の作業・収入の拡充に繋がっていかねばと考える。

なお、今年度上半期に実施を予定していた国分寺駅での販売イベントについては、ミーツ国分寺にて7月に3日間実施した。見えてきた課題を元に、工夫や改善点を検討し、次回以降の販売会の売り上げアップに繋げていきたいと考えている。

就労移行支援事業所連絡会は、就労移行支援事業所に限らず、一般就労を支援する事業所（就労継続支援A型、B型）も参加できるようにし、就労支援事業所連絡会に名称を変更して開催した。就労移行支援事業所3事業所、就労継続支援B型事業所2事業所、全5事業所の参加となった。

地域における実習先の開拓については、地域活性化包括連携協定を結ぶ丸井国分寺店にて2日間、各1名の実習生を受け入れていただいた。その他の実習受け入れを了承していただいている企業等での実習については、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてからの回答の為、実施できていない状況が継続している。今後も実習機会について調整を図る予定。

その他、庁内実習等については概ね予定通りに実施している。

市内就労支援事業所が特別支援学校の見学や意見交換を行うことで円滑な就労支援事業所への移行や効果的な学校実習に繋げることを目的に、都立武蔵台学園への見学会を11月29日（火）に予定している。詳細が固まり次第、市内就労支援事業所等に案内していく予定。

地域生活支援拠点における「体験の機会・場」を充実させる為、障害者就労支援事業所が実施する体験実習を報酬化していくことをお仕事ネットワーク等で協議している。

## 今後の活動予定

武蔵台学園 見学・意見交換	11月29日(火)	武蔵台学園高等部における作業班活動の様子を中心とした校内見学と意見交換を予定している。	
障害者週間行事 における販売会	12月3日(土)～ 12月4日(日)	お仕事ネット加盟団体による自主製品等の販売やクラフト品等のワークショップを計画	会場:セレオ国分寺 nonowa 西国分寺(3日～9日)
第3回	2月7日(火)	① 作業部会の取組状況報告 ② 今年度の取組について * 検証と次年度に向けた課題抽出 ③ 次年度の取組について協議	
農福連携に 関する協議	不定期 (随時開催)	* お仕事ネットワーク価格表を活用した 役務提供等の発注・受注について協議 など	
国分寺障害者 施設お仕事 ネットワーク	10月13日(木) 11月10日(木) 12月8日(木) 1月12日(木) 2月9日(木) 3月9日(木)	* 共同受注に関する進捗状況報告等 * 価格表を活用した新規受注の開拓 * 販売会の企画・提案・実施・課題整理 * 就労支援部会から出される課題について協議など	商業施設での販売会 ②12月3・4日 セレオ国分寺 nonowa 西国分寺 (3日～9日) 残り1回は調整中
就労支援 事業所連絡会	未定	① 企業実習先の開拓について ② 関係機関による一般就労支援に関する課題の共有	

# 令和4年度 精神保健福祉部会 中間活動報告書

## 今年度部会の主な取組予定

- ◆全体を通じて「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築に向けて協議を行う（継続）。
- ① 「地域生活支援拠点」機能についての精査を行う。特に精神障害者の体験の機会・場に求められる機能について検討する。
  - ② 精神障害者に必要な緊急時の支援についてニーズの整理や必要な機能について協議する。
  - ③ 教育分野のこころの健康に関する支援の現状や課題の共有及び普及啓発について検討する。
  - ④ 精神障害当事者の方からの生活状況や暮らしのニーズ等のヒアリングを行い、今後の支援の課題を抽出し、施策・制度への反映を模索する。
  - ⑤ 「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築に欠かせない要素である居住支援の実際について現状の把握を行う。
  - ⑥ 地域移行等支援連絡会において、「退院意欲喚起のためのツール作成」など退院支援の体制構築の取組を進め、近隣市の精神科病院へのアプローチを重ねる。

## 活動内容及びスケジュールなど

	日にち	内容
ワーキンググループ	4月12日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新旧部会員の交代と昨年度の振り返り</li> <li>・退院意欲喚起のためのツール作成について</li> <li>・今年度の近隣市精神科病院訪問についての打ち合わせ</li> <li>・個別ケースの取組について</li> </ul>
ワーキンググループ	5月10日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・退院意欲喚起のためのツール作成について</li> <li>・作業部会としての位置づけについて</li> <li>・個別ケースの取組について</li> </ul>
第1回	5月27日(金)	<p>◆今年度の協議内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①地域生活支援拠点に求められる「体験の機会・場」の提供について ⇒ハードとソフト面の拡充</li> <li>③精神障害に関する普及啓発活動・広報等について ⇒教育との連携</li> <li>④前年度当事者ヒアリングの振り返りと今年度のヒアリングの取組について</li> <li>⑥地域移行等支援連絡会（旧：地域移行支援ワーキング・グループ）の活動報告と位置づけについて ⇒精神科病院へのアプローチ（退院意欲喚起ツールの作成を含む）</li> </ul>
地域移行等支援連絡会	6月13日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・退院意欲喚起のためのツール作成について</li> <li>・8月に行われる養護教諭との連携について</li> <li>・個別ケースの取組について</li> </ul>
スキルアップ研修（地域移行）	6月17日(金)	◆地域移行支援 in 国分寺「地域支援機関と精神科病院との連携」～連携事例を共有し、具体的な取組につなげよう～
地域移行等支援連絡会	7月11日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・退院意欲喚起のためのツール作成について</li> <li>・近隣市精神科病院訪問についての打ち合わせ</li> <li>・個別ケースの取組について</li> </ul>
地域移行等支援連絡会	8月4日(木)	・教育研究会学校保健部会（市立小中学校養護教諭連絡会夏季研究会）への出講
地域移行等支援連絡会	8月9日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・退院意欲喚起のためのツール作成について</li> <li>・近隣市精神科病院訪問についての打ち合わせ</li> <li>・個別ケースの取組について</li> </ul>

地域移行等支援連絡会	8月10日(水)	・近隣市精神科病院訪問(常務理事との会合)
第2回	8月26日(金)	①「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」と地域生活支援拠点の連動について ⇒緊急時の支援におけるニーズの整理や必要な機能の検討 ③精神障害に関する普及啓発活動・広報等について ⇒教育研究会学校保健部会への参加報告, 教育分野のこころの健康に関する支援の現状及び課題の整理 ⑦地域移行等支援連絡会の活動報告ならびに今後の活動について
地域移行等支援連絡会	9月13日(火)	・近隣市精神科病院訪問の振り返り ・地域移行の取組の今後の進め方について ・退院意欲喚起のためのツール作成について ・個別ケースの取組について
地域移行等支援連絡会	9月29日(木)	・近隣市精神科病院へ退院意欲喚起のためのツール(グループホーム紹介動画)の受渡

### 成果・活動から見えてきたことなど(課題整理)

- ◆長期入院されている国分寺市民の方々の地域移行支援や地域定着支援を促進していくために、ワーキング・グループを作業部会(地域移行等支援連絡会)として位置づけ、定期的開催していくこととした。それにより、「退院意欲喚起のためのツール」作成に時間を割くことができ、部会構成員と視聴し意見を反映することができた。今後については、近隣市精神科病院での利用の反応を踏まえ、他病院や病院以外の場面での活用や続編の作成について検討を行っていく。
- ◆普及啓発については、市立小中学校養護教諭の研修会へ参加し、市内の精神保健福祉の相談機関や相談方法等を情報発信した。高校の保健体育の教科書に精神疾患や精神保健福祉等の記述が復活したことを鑑み、今後は高校への関わりを含め、若年層への普及啓発の拡大をはかる。
- ◆「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」においても重要な機能を担う地域生活支援拠点の機能充実に向けて、地域移行支援にも関わってくる「体験の機会・場」のあり方について協議を重ね、支援方法の拡充を見出していく。
- ◆上記の取組をしていく中で、精神障害当事者の体験や発言の必要性が再認識された。引き続き、直接的なヒアリングを行い、生活支援の要素やニーズをくみ取り、また地域移行支援等連絡会において抽出された課題との共有化もはかりつつ、地域の課題や支援ニーズを確認・共有していく。

### 今後の活動予定

	日にち	内容
第3回	11月18日(金)	②「緊急時の支援」を含む地域生活支援拠点のあり方について ⇒今後の支援における課題の抽出 ④当事者ヒアリングの実施に向けて ⇒設問項目の検討, ヒアサポーター等の活用についての協議・検討 ⑤居住支援について ⇒現状把握と課題整理 ⑥地域移行等支援連絡会の活動報告ならびに今後の活動について
第4回	2月3日(金)	・北多摩西部圏域の医療連携の動きの確認について ④当事者ヒアリング ⇒生活状況把握・要望の聞き取り ⑥地域移行等支援連絡会の活動報告ならびに今後の活動について ◆次年度に向けての課題・取組について
地域移行等支援連絡会	月1回開催	◆退院意欲喚起ツールの作成に関する検討 ◆個別ケースの共有, 退院支援に向けた検討など